

令和6年度「東海がん専門医療人材養成プラン」外部評価

- <外部評価委員会 構成員>

がん関連学会の理事長経験者(医師)、看護系大学の教授(看護師)、大学病院薬剤部の教授(薬剤師)、がん患者団体の推薦を受けた代表者、医療系ジャーナリスト、東海地域の保健行政に関わる者 など
- <評価の数字について>

5:目標の達成状況が非常に優れている

4:目標の達成状況が優れている

3:目標の達成状況がおおむね良好である

2:目標の達成状況が不十分である

1:目標の達成のためには重大な改善事項がある

■本年度の補助事業実施計画	進捗状況	評価についてのコメント
① 各大学において大学院コース開始(4月)	4	各大学院で受け入れ人数の達成率の差はあるものの、全体で目標人数のおよそ1.4倍の学生を受け入れている。また、5職種の大学院生が共に学ぶ「がんTHP」コースは目標の3.2倍の学生を受け入れており、その成果が期待できる。
	3	各大学間で達成状況にバラつきは見られるものの、おおむね計画通り実施されている。一部大学の自己評価にあるように、どのように募集をかけていくかという広報的な課題があるように思う。
	3	事業成果報告を拝読いたしますと「学びばこ」の運用により、連携大学間で講義をリアルタイムで共有できるように環境が整備されたとのことですが、これを、もっと効果的に活用する方策をご提案申し上げたいと存じます。
② インテンシブコース開始(4月)	3	受け入れがなかったコースもあったものの、名古屋大学が開設した、臨床遺伝「つるまい遺伝塾」コースの参加者が大変多く、対象者のニーズに沿った教育プログラムであることが理解できた。また、名古屋市立大学が開設した「東海がんプロ・名市大」コースは受け入れ目標人数が4名のところ46名と多かった。実習受け入れ能力を考慮しての目標受け入れ人数を設定したとあったため、実習環境について疑問が残った。
	3	大学によって受入人数に大きな差がありますが、受け入れゼロの施設では次年度以降、改善するように期待します。
	3	履修生の確保は、コースによって大きく異なるが、成果が期待される。履修生が数倍から10倍を超えるコースもあり、教育体制の質の担保が懸念される。
③ 履修記録管理システムの本格運用開始(4月)	3	「学びばこ」の本格運用も開始され、学生が学習しやすい環境整備が進んできたと考える。また、履修生が選択コースにおける自己の学習状況を速やかに的確に把握できることは、個々の学生の学習支援には重要なことであり、また連携共有講義のリアルタイム配信が増えたことも、望ましいことである。
	4	様々な選考の履修生に対応できるような工夫があり、連携共有がなされ、履修環境が整っている。学びばこのシステムも、履修生のサポートに役立っていると思われる。
	4	具体的な運用が進み、成果を上げていると評価する。
④ 東海がんプロ協議会(5月, 11月, 2月 年3回)	3	補助金の配分等についても会議で説明され承認された上で進めていること、および外部評価を受けて改善策を検討し、健全に進められていることが理解できた。
	4	東海がんプロ協議会を定期的を開催して、事業の進捗を管理しているのは高く評価されます。議事録もきっちり残して、真剣な議論をしながらがんプロ事業を勧めていることがよくわかります。
	4	各大学の現状と課題について、適切に話し合いと情報共有ができていていると評価する。

⑤ 東海がんプロセミナー開催(5月, 8月, 11月, 2月 年4回)	4	計画では4回のところ5回開催され、ハイブリッド型での開催ではオンライン参加者も多く、テーマそして参加方法など、対象者のニーズに合致していたと考える。
	2	計画に則って実施されていると思うが、目標とする集客数がわからないので、評価しづらい。イベントは内容も大切だが、どれだけ多くの人に情報提供ができたかは、もっと大切かと思う。
	4	予定していた4回のセミナーをいずれも多く参加者を得て開催したことを評価します。セミナーのテーマは第4期がんプロに即したものであり、国際セミナーもあり素晴らしい内容と思います。可能であれば参加者の属性や評価などアンケート調査して頂ければ参考になると思います。
⑥ 市民公開講座(9月, 3月 年2回)	3	計画では2回のところ3回開催されており、テーマはいずれも市民にとって関心を抱く設定であったと思われる。しかし参加者が22名と少なかった講座もあり、市民へのアナウンスなど、より工夫を凝らすことで市民にとっても有益な場を提供できると考える。
	4	2回の予定が積極的にさらに1回追加で開催して頂き、テーマも一般市民の興味を引くものになっており、多くの参加者を確保して盛況であったと思われます。アンケート調査から満足度も高かったと思います。
	4	想定を上回り開催したため、「4」と評価した。市民公開講座の目的が不明なため、それ以上の加点・減点は行わなかった。
⑦ 外部評価の実施(2月)	3	予定より1か月遅れたが、3月に外部評価を実施している。履修生を対象にアンケートを行い、これらのフィードバックは、外部評価委員に評価を依頼する際の報告資料の一部とした。との記載があったが、それらは手元に届いておらず、残念であった。
	3	外部評価を、予定通り実施しているため「3」と評価した。事業報告書の中で、評価を受けて、適切な改善策を示すことができれば、さらなる加点がなされるものと考えられる。
	3	外部評価の資料が2月ではなく、3月に入ってから届いた。2月中の実施が望ましい。
⑧ 全国がんプロ教育合同フォーラム開催(2月)	3	名古屋大学医学部附属病院で開催された、2024年度全国がんプロ教育合同フォーラムを開催し参加している。
	4	「学際領域の人材育成」をテーマに良いプログラムを考えて頂き、全国から多数の参加者を得て、大成功であったと思います。特に特別講演Ⅱでは医療の専門外の立場からコミュニケーションについて講演頂き、大変勉強になり、良い企画だったと思います。
	5	計画通り合同フォーラムを開催するだけでなく、内容として全国の拠点の代表者が活発な議論を交わすなど、非常に有意義なフォーラムであったことが伺えるため「5」と評価した。
⑨ 最新の情報収集のため国内外の各種学会への参加・FD実施	3	今回の資料だけでは、どのような国内外の各種学会へ参加したのか把握することは不可能である。がしかし、各大学における本事業の教育担当者は、最新の知識及び情報を収集し、また多くのセッションに参加することにより成り立つプログラムであることは十分に理解できる。
	3	「本事業で教育を担当する指導者のFDとして、各がん関連学会に出席した。」とありますが、具体的なべ人数などを提示して頂けると評価がしやすいです。
	4	各種学会への出席により、情報収集だけでなく、連携大学の教育指導力の強化につながったとのことで「4」と評価した。